

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本語表現法応用Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	【建築工学コース:必修科目】【建築コース:必修科目】【デザインコース:必修科目】						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解し、使用できる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・語彙・言葉の意味を正しく理解し、使い分けができる。 ・漢字・表記を正しく使用できる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を習得する。 						
日程と内容	<p>授業計画の項目および内容</p> <p>第1回：講義概要および履修心得・学習法</p> <p>第2回：書き言葉の技能 応用 要旨</p> <p>第3回：書き言葉の技能 応用 要約 その1</p> <p>第4回：書き言葉の技能 応用 要約 その2</p> <p>第5回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その1</p> <p>第6回：書き言葉の技能 発展 レポートの書き方 その2</p> <p>第7回：書き言葉の技能 発展 論証 その1</p> <p>第8回：書き言葉の技能 発展 論証 その2</p> <p>第9回：話し言葉の技能 基礎 敬語 その1</p> <p>第10回：話し言葉の技能 基礎 敬語 その2</p> <p>第11回：話し言葉の技能 基礎 敬語 その3</p> <p>第12回：話し言葉の技能 応用 相手を考えて話す</p> <p>第13回：総合応用 1</p> <p>第14回：総合応用 2</p> <p>第15回：まとめ 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	50%				100%	
授業到達目標の達成度	○基礎知識は比較的身につけているが、実際の表現に活かすことができなかったこと。						
反省点	○文章を構成する要素となる、主語・述語などの係り受けなど、文レベルでの習熟が課題が残った。						
来年度の計画	○実際の表現の機会を可能なかぎり、作ること。						
授業評価アンケートに対するコメント	○基礎科目の日本語表現法を土台に、専門科目のレポートや論文で、論理的な文章を書く指導を期待したい。						
履修登録者数	93名	定期試験 受験者数	88名	合格者数	88名	合格率	100%